

平成24年度「特別支援教育総合推進事業（特別支援教育に関する教育課程の編成等についての実践研究）」報告書

団体名	香川県立善通寺養護学校
研究開始年度	平成24年度

I 概要

1 指定校の一覧

設置者	学校種	学校名
香川県	特別支援学校	かがわけんりつぜんつうじょうごがっこう 香川県立善通寺養護学校

2 研究テーマ

自己理解を『社会参加』につなげる進路指導の研究
－関係機関と連携したキャリア形成の在り方－

3 研究の内容

(1) 研究の内容

- ① 教科や総合的な学習の時間、生活単元学習、自立活動などにおいて外部人材の活用も含めた授業研究を実施
 - ・キャリア形成を踏まえた個別の教育支援計画や個別の指導計画を基にした教科等での授業において、個々の児童生徒の実態に合わせた授業内容の研究を行った。
 - ・外部からの人材として障害者職業センターや障害者就業・生活支援センターの職員をゲストティーチャーとして迎えた。
 - ・キャリア形成に向けての授業研究を行い、大学教員から外部評価としての指導助言を受けた。
 - ・障害者職業センターや障害者就業・生活支援センターなどの関係機関から、関係機関から見た本校の児童生徒に求めるものを確認した。その内容をもとに、児童生徒のキャリア形成に必要な力を明らかにした。
- ② 児童生徒の実態把握を関係機関と協力して実施
 - ・児童生徒の特性の理解などのために、医療機関とのケースカンファレンスを適宜実施した。
 - ・日本版身体的自己知覚プロフィール改訂版（本校独自に改良したもの）を使って、中学部、高等部の生徒の自己理解度の分析と変化を把握した。
 - ・高等部の生徒については、障害者職業センターに職業評価を依頼するなどして、その評価内容を教員と関係機関で共有した。
- ③ 児童生徒への教育課程別で具体化されたキャリアについてキャリア教育学習内容表の身に付けさせたい力として現行の表の改善

・児童生徒の特性から導き出されるキャリアを具体化した。

- ④ 教師の資質の向上と保護者への理解啓発のために、福祉や労働等関係機関から最新の情報について研修した。
- ⑤ 発達障害や適応障害の児童生徒へ、特色あるキャリア教育を実施している先進校を視察した。

(2) 評価の観点及び評価方法

評価の観点

- ① 児童生徒のキャリアについて実態に合ったキャリアの捉え方が明確になったか。
- ② 関係機関が考えている児童生徒の特性と、教員が考えている児童生徒の特性との違いが明確になったか。
- ③ 身体的自己知覚プロフィールなどを活用するなかで、児童生徒の自己理解の状況や自己の将来像の把握度を分析することができたか。
- ④ キャリア形成に必要な力として、児童生徒の実態に即したキャリア教育学習内容表がまとめられたか。
- ⑤ 関係機関や専門家と連携して授業を展開するなかで、キャリア形成の観点を入れた授業づくりができたか

評価方法

- ① 児童生徒の実態把握表や障害者職業センターの職業評価などから評価する。
- ② 関係機関から見た児童生徒の特性の聞き取りを行う。
- ③ 児童生徒の特性を、身体的自己知覚プロフィールなどを使って評価する。
- ④ キャリア教育学習内容表について、関係機関や専門家から指導助言をもらう。
- ⑤ 授業研究を行うなかで、関係機関の方や専門家から指導助言をもらう。

4 研究成果の概要

(1) 研究の成果

- ① 児童生徒の実態に応じたキャリアの捉え方を明確にすることができた。
- ② 障害者職業センターや障害者就業・生活支援センターなどの関係機関と連携するなかで、病弱の児童生徒の特性について共通理解を図ることができた。
- ③ 各教科等で身に付けることのできるキャリアについて、各部、各グループでキャリア教育学習内容表にまとめることができ、各部、各グループ間の関連性や重要性を一層認識することができた。
- ④ 関係機関等と連携した授業を行うなかで、福祉や労働機関から求められる力の理解や、重度の障害のある児童生徒への支援機器の活用などの授業研究と改善を進めることができた。
- ⑤ 適応障害や精神疾患などの問題を抱える高等部生徒へのキャリア形成の在り方を考えるなかで、自己理解を高めていくための学校設定教科の導入等教育課程を改善する必要性を認識することができた。

(2) 課題

- ① 児童生徒の実態に合わせたキャリア形成につながる指導内容と指導方法の検

討が必要である。

- ② 関係機関が参画する授業の教育効果や効果的な活用方法を引き続き研究する必要がある。
- ③ 各部間で連携したキャリア形成に向けての情報共有と指導の一貫性と継続性が課題である。
- ④ 適応障害や精神疾患などの問題を抱える児童生徒への自己理解や、人間関係能力などを高めるために必要な学校設定教科の導入等に向けての研究を進めることが課題である。